

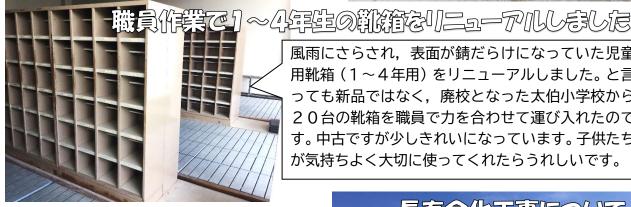
## 『久しふ説』を大き川に一始業式の話一

この夏休み, 私にはたくさんの「久しぶり」がありました。帰省した娘と久しぶりにゆ っくりと話をし、久しぶりに孫とお出かけをしました。久しぶりに恩師を訪ね、元気そう な姿を見て安心しました。こうして久しぶりの出来事を思い返していると、「久しぶり」 という言葉には、忘れかけていた大切なものを思い出させる力があると気づきます。一つ 一つの久しぶりを大切にしていきたいと改めて思いました。今日は2学期の始業式。夏休 み明けの教室では久しぶりに会う友達と笑顔で会話する子供たちの姿がありました。「久 しぶりに会えてうれしいよ。」という気持ちがにじみ出ているようでした。そのあたたか

い気持ちを大切にしながら2学期を充実した 思い出深い学期にしてほしいと願っています。

8月19日(土), 生石地区の保護者の方と5・6 年の子供たちを中心にして、PTA奉仕作業が行 われました。運動場や中庭、学級園の周りなどの 校地だけでなく、マルナカやザグザグ周辺までき れいにしました。おかげさまで気持ちよく2学期 を迎えることができます。





風雨にさらされ、表面が錆だらけになっていた児童 用靴箱(1~4年用)をリニューアルしました。と言 っても新品ではなく、廃校となった太伯小学校から 20台の靴箱を職員で力を合わせて運び入れたので す。中古ですが少しきれいになっています。子供たち が気持ちよく大切に使ってくれたらうれしいです。

ピロティ、コンピュータルーム、理科室、音楽室が入る 棟の表面をきれいにして、長持ちさせるための工事で す。ピロティを除いては、どの教室も支障なく使えます。 ただし、車両の通行や資材置き場の確保のため、運動場 の3分の1程が使えなくなります。バリケードで囲み安 全に配慮して工事は進められますが、子供たちの安全に は十分留意したいと思います。保護者や地域の方々にも ご迷惑とご不自由をかけます。工期は2学期いっぱいを 予定しています。

